

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【公開番号】特開2014-104728(P2014-104728A)

【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2012-261631(P2012-261631)

【国際特許分類】

B 41 J 29/46 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

B 41 J 29/42 (2006.01)

【F I】

B 41 J 29/46 Z

G 03 G 21/00 3 8 6

G 03 G 21/00 5 0 0

B 41 J 29/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月13日(2015.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に画像を形成する画像形成装置であって、

前記画像形成装置のメンテナンスを要する事象の発生を検知する検知手段と、

動画の再生をユーザの指示により開始して前記動画を表示させる手動動画再生手段と、

前記動画により指示された手順が実行されたかどうかを検出する検出手段と、

前記検知手段による前記事象の検知に応じて、前記事象に対する初期操作の手順を示す動画の再生を前記手動動画再生手段により実行させ、前記検出手段により前記手順が実行されたことを検出すると、前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の再生を前記手動動画再生手段により実行させるように制御する制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

記録媒体に画像を形成する画像形成装置であって、

前記画像形成装置のメンテナンスを要する事象の発生を検知する検知手段と、

動画の再生をユーザの指示により開始して前記動画を表示させる手動動画再生手段と、

動画の再生を自動的に開始して前記動画を表示させる自動動画再生手段と、

前記動画により指示された手順が実行されたかどうかを検出する検出手段と、

前記検知手段による前記事象の検知に応じて、前記事象に対する初期操作の手順を示す動画の再生を前記手動動画再生手段により実行させ、前記検出手段により前記手順が実行されたことを検出すると、前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の再生を前記自動動画再生手段により実行させるように制御する制御手段と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項3】

前記事象が発生した場所が、前回の事象が発生した場所と同じ場合、前記制御手段は、前記事象に対する初期操作の手順を示す動画の再生を前記自動動画再生手段により実行さ

せることを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記検知手段が複数の前記事象の発生を検知した場合、前記制御手段は、前記事象のそれぞれが解除されるたびに、前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の再生を前記手動動画再生手段により実行させることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記検知手段が複数の前記事象の発生を検知した場合、前記制御手段は、前記事象のそれぞれが解除されるたびに、前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の再生を前記自動動画再生手段により実行させることを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記メンテナンスを要する事象は、記録媒体のジャム、インクなし、記録媒体なしの少なくともいずれかを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記事象に対する初期操作の手順は、前記画像形成装置のカバーを開ける手順であることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記検出手段は、前記カバーが開けられたかどうかを検出することを特徴とする請求項 7 に記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記事象に対する初期操作の手順を示す動画、及び前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の動画データを記憶する記憶手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。

【請求項 10】

記録媒体に画像を形成する画像形成装置を制御する制御方法であって、

検知手段が、前記画像形成装置のメンテナンスを要する事象の発生を検知する検知工程と、

手動動画再生手段が、動画の再生をユーザの指示により開始して前記動画を表示させる手動動画再生工程と、

検出手段が、前記動画により指示された手順が実行されたかどうかを検出する検出工程と、

制御手段が、前記検知工程による前記事象の検知に応じて、前記事象に対する初期操作の手順を示す動画の再生を前記手動動画再生工程により実行させ、前記検出工程で前記手順が実行されたことを検出すると、前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の再生を前記手動動画再生工程により実行させるように制御する制御工程と、
を有することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 11】

記録媒体に画像を形成する画像形成装置を制御する制御方法であって、

検知手段が、前記画像形成装置のメンテナンスを要する事象の発生を検知する検知工程と、

手動動画再生手段が、動画の再生をユーザの指示により開始して前記動画を表示させる手動動画再生工程と、

自動動画再生手段が、動画の再生を自動的に開始して前記動画を表示させる自動動画再生工程と、

検出手段が、前記動画により指示された手順が実行されたかどうかを検出する検出工程と、

制御手段が、前記検知工程による前記事象の検知に応じて、前記事象に対する初期操作の手順を示す動画の再生を前記手動動画再生工程により実行させ、前記検出工程で前記手順が実行されたことを検出すると、前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の再生を前記自動動画再生工程により実行させるように制御する制御工程と、

を有することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 1 2】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記目的を達成するために本発明の一態様に係る画像形成装置は以下のような構成を備える。即ち、

記録媒体に画像を形成する画像形成装置であって、

前記画像形成装置のメンテナンスを要する事象の発生を検知する検知手段と、

動画の再生をユーザの指示により開始して前記動画を表示させる手動動画再生手段と、前記動画により指示された手順が実行されたかどうかを検出する検出手段と、

前記検知手段による前記事象の検知に応じて、前記事象に対する初期操作の手順を示す動画の再生を前記手動動画再生手段により実行させ、前記検出手段により前記手順が実行されたことを検出すると、前記事象に対する後続の操作手順を示す動画の再生を前記手動動画再生手段により実行させるように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。